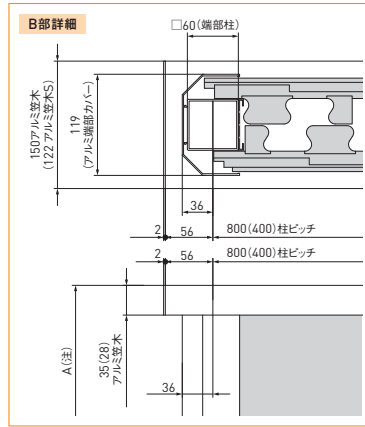
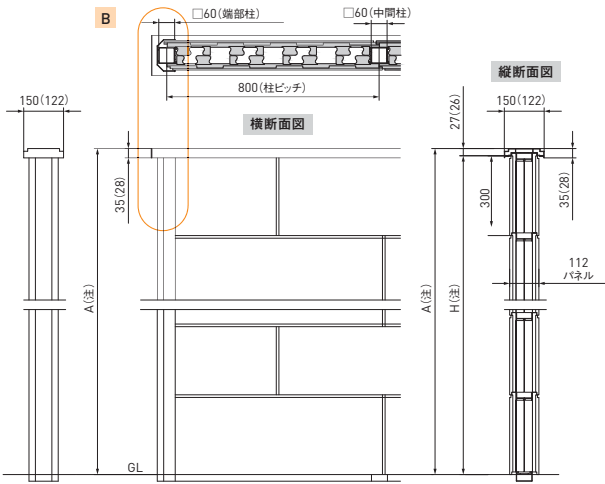


詳細納まり図 A型

塗装済【目地有】

アルミ笠木・アルミ端部カバー 柱1 (60×60) 仕様



部材名	H	A
H12	1200	1227 (1226)
H15	1500	1527 (1526)
H18	1800	1827 (1826)

()寸法はアルミ笠木
本図の笠木はアルミ笠木を示します。

●H2100・H2400にはアルミ端部カバーの設定はありません。
(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm程度の公差があります。

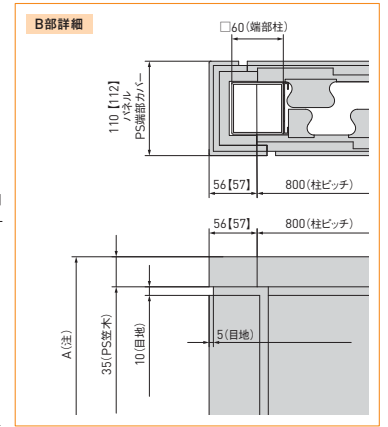
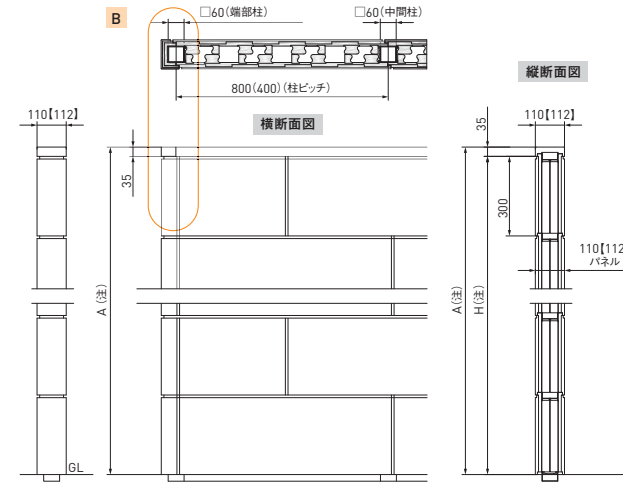
アルミ笠木・アルミ笠木Sの断面納まりはP77を参照ください。

塗装済【目地有】

現場塗装仕上用【目地有・無】

現場貼り仕上用【目地無】

PS笠木・PS端部カバー 柱1・2 (60×60) 仕様



部材名	H	A
H12	1200	1235
H15	1500	1535
H18	1800	1835
H21	2100	2135
H24	2400	2435

【】寸法は塗装済
本図は目地有

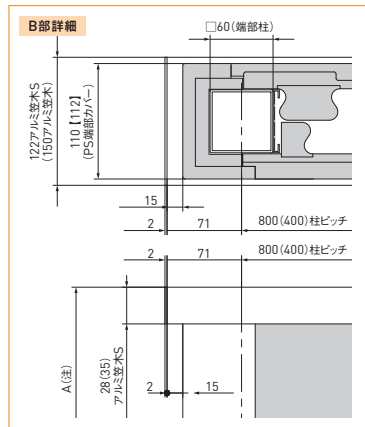
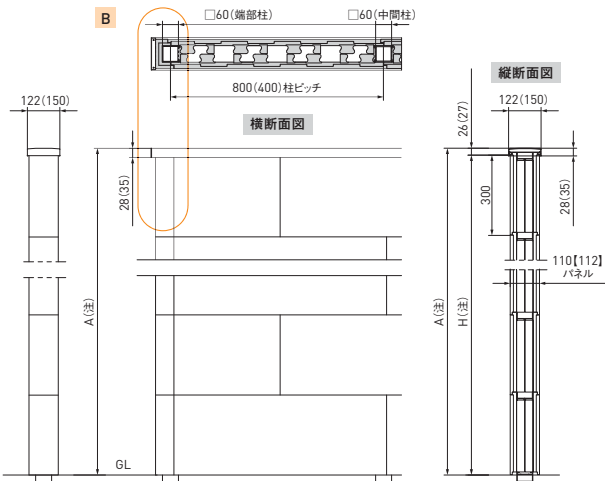
(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm、現場塗装仕上用で2~5mm程度の公差があります。

PS笠木の断面納まりはP77を参照ください。

塗装済【目地有】

現場塗装仕上用【目地有・無】

アルミ笠木・PS端部カバー 柱1・2 (60×60) 仕様



部材名	H	A
H12	1200	1226 (1227)
H15	1500	1526 (1527)
H18	1800	1826 (1827)
H21	2100	2126 (2127)
H24	2400	2426 (2427)

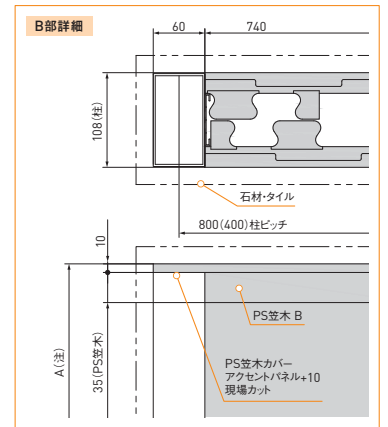
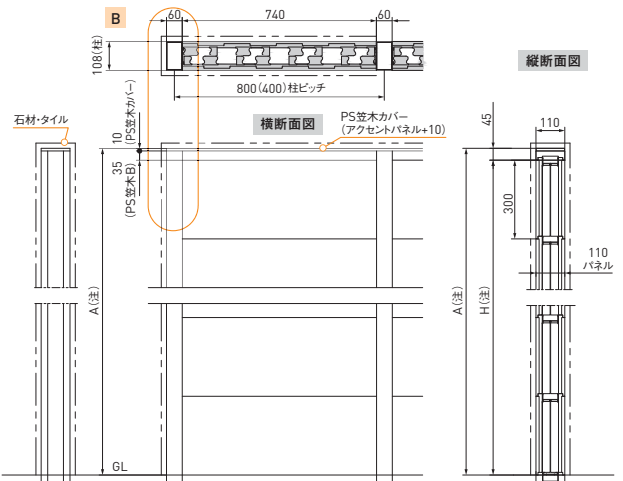
()寸法はアルミ笠木 【】寸法は塗装済寸法
本図は目地無・アルミ笠木Sを示します。

(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm、現場塗装仕上用で2~5mm程度の公差があります。

アルミ笠木・アルミ笠木Sの断面納まりはP77を参照ください。

現場貼り仕上用【目地無】

PS笠木B・PS端部カバー 柱3 (108×60) 仕様



部材名	H	A
H21	2100	2145
H24	2400	2445

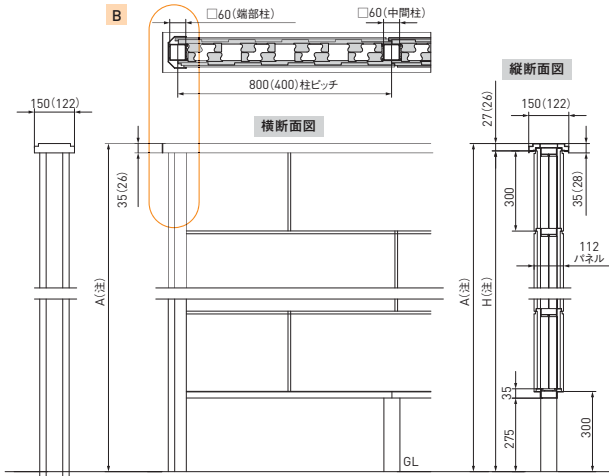
(注)組立等やパネル仕上により現場貼り仕上用で2~5mm程度の公差があります。

PS笠木B・PS笠木カバーの断面納まりはP77を参照ください。

詳細納まり図 C型

■ 塗装済[目地有]

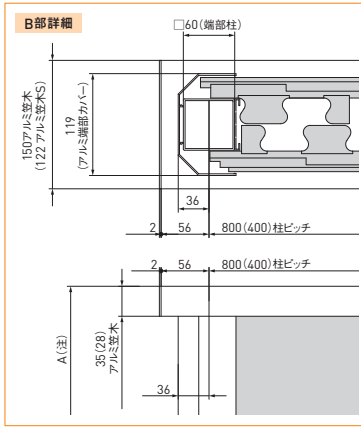
アルミ笠木・アルミ端部カバー 柱1 (60×60) 仕様



()寸法はアルミ笠木
本図の笠木はアルミ笠木を示します。

●H2100・H2400にはアルミ端部カバーの設定はありません。
(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm程度の公差があります。

アルミ笠木・アルミ笠木Sの断面納まりはP77を参照ください。



部材名	H	A
H12	1200	1227(1226)
H15	1500	1527(1526)
H18	1800	1827(1826)

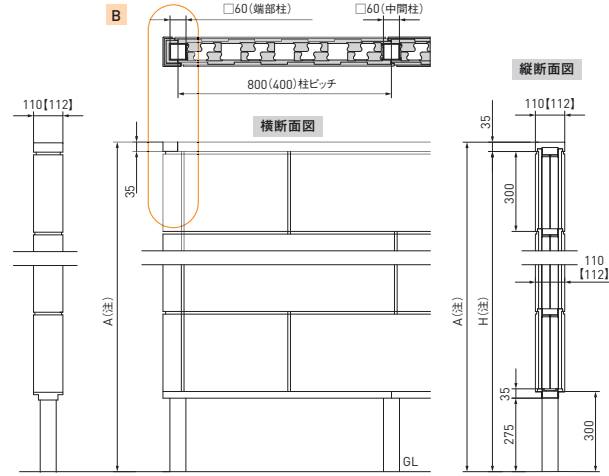
■ 塗装済[目地有]

■ 現場塗装仕上用[目地有・無]

■ 現場貼り仕上用[目地無]

PS笠木・PS端部カバー 柱1・2 (60×60) 仕様

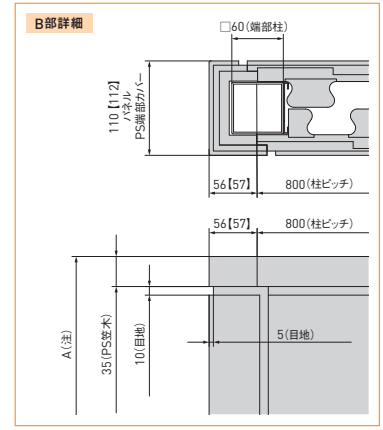
※現場塗装仕上用のPS硬質笠木の納まりはP77を参照してください。



[]寸法は塗装済
本図は目地有

(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm、現場塗装仕上用で2~5mm程度の公差があります。

PS笠木の断面納まりはP77を参照ください。

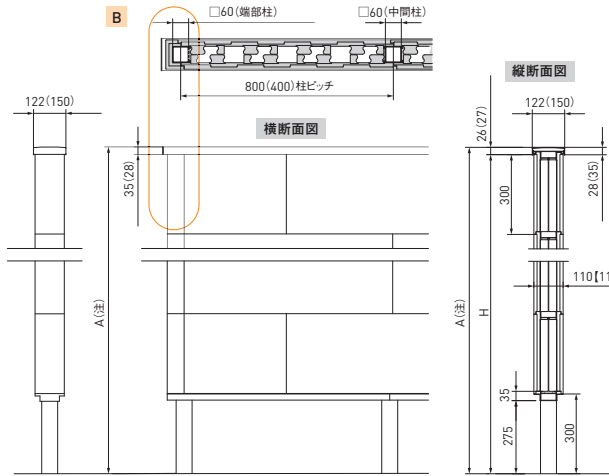


部材名	H	A
H12	1200	1235
H15	1500	1535
H18	1800	1835
H21	2100	2135
H24	2400	2435

■ 塗装済[目地有]

■ 現場塗装仕上用[目地有・無]

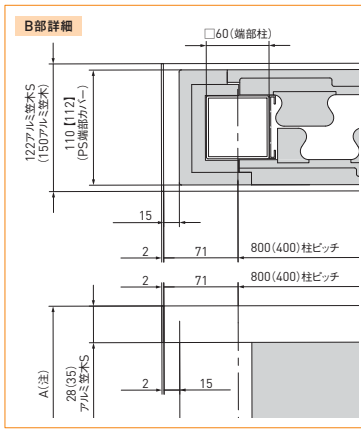
アルミ笠木・PS端部カバー 柱1・2 (60×60) 仕様



()寸法はアルミ笠木 []寸法は塗装済寸法
本図は目地無・アルミ笠木Sを示します。

(注)組立等やパネル仕上により塗装済で約10mm、現場塗装仕上用で2~5mm程度の公差があります。

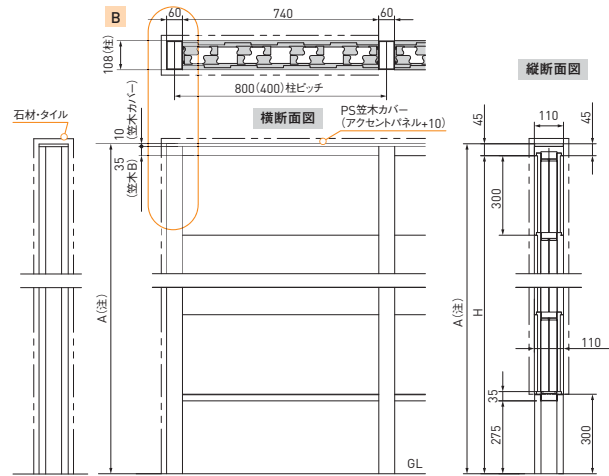
アルミ笠木・アルミ笠木Sの断面納まりはP77を参照ください。



部材名	H	A
H12	1200	1226(1227)
H15	1500	1526(1527)
H18	1800	1826(1827)
H21	2100	2126(2127)
H24	2400	2426(2427)

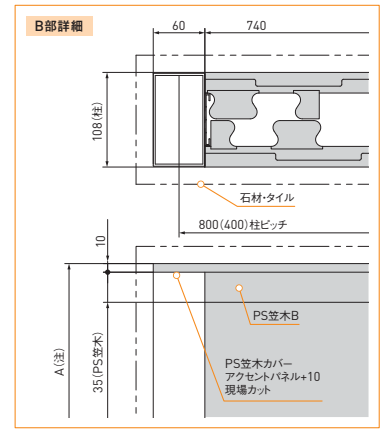
■ 現場貼り仕上用[目地無]

PS笠木B・PS端部カバー 柱3 (108×60) 仕様



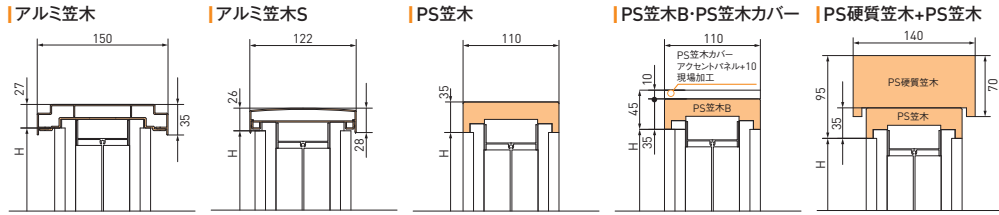
(注)組立等やパネル仕上により現場貼り仕上用で2~5mm程度の公差があります。

PS笠木B・PS笠木カバーの断面納まりはP77を参照ください。

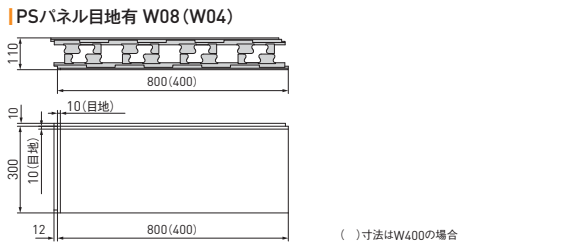
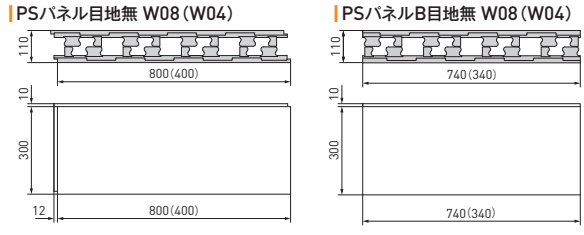


部材名	H	A
H21	2100	2145
H24	2400	2445

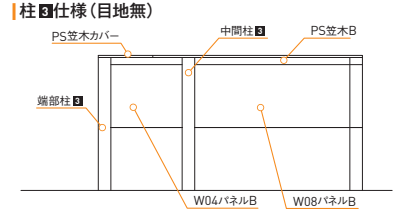
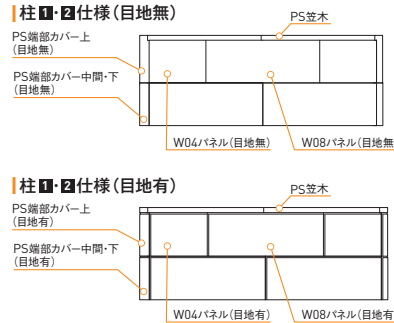
詳細図



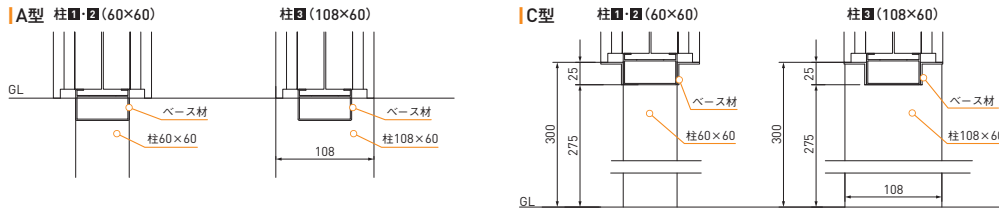
PSパネル寸法図



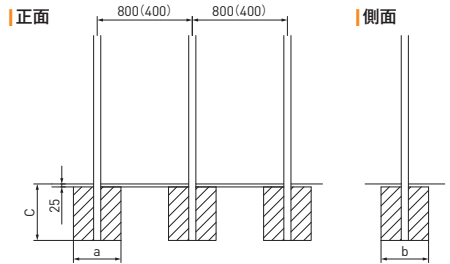
PSパネル組付図



ベース部材納まり図



基礎寸法図 (現場貼り仕上用)



貼付け重量 55kg/m以下			貼付け重量 55~75kg/m以下		
高さ寸法	基礎の大きさ		高さ寸法	基礎の大きさ	
呼称	a×b	c	呼称	a×b	c
H12	400×400	450	H12	450×450	450
H15	450×450	500	H15	500×500	500
H18	450×450	600	H18	500×500	600
H21	500×500	650	H21	600×600	650
H24	500×500	700			

※塗装済・現場塗装仕上の基礎および偏芯についてはP65を参照してください。

施工および使用上の注意

施工上の注意

1. 運搬及び保管

- 本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は、無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 当社プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

2. 施工

- 正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品の材質は、硬質ポリスチレンフォームを使用しています。施工時、有機溶剤系の塗料、接着剤を使用すると溶解する恐れがあります。塗料は水性塗料、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品]
オプション 接着剤セット 3,500円
[当社推奨品]
(変成シリコン系接着剤) コニシ社 MPX-1
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材を接着する場合
[当社推奨品]
セメダイン社 タイルエースPro / ニッタイ工業社 EY-21
- 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装をおこなってください。塗装割れや段差の原因になります。
- コーキング材は必ず変成シリコン系 ノンブリードタイプを使用してください。
- 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としり、物に当たらないでください。傷・へこみ・破損の原因になります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 塗装済は吹き付け塗装仕上、現場塗装仕上は下塗材（プライマー）塗装済、現場貼り仕上は生地（下塗材（プライマー）未塗装）の状態でお届けします。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

使用上の注意

- 塗装済、現場塗装仕上の場合、年に2-3回の水洗いをしてください。その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 洗浄機での洗浄を行う場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみや改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因となりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。